

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ふたみ潮風ふれあい公園管理運営事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 都市住宅課		電話番号(内線): 543	
記入者情報	所属長: 森下 久史		担当責任者: 小寺 卓也	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	ふたみ潮風ふれあい公園及び施設利用者			
根拠法令等	都市公園法、伊予市公園条例			
事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容	公園内施設の維持管理及び修繕等を行なうことにより、適正に施設管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	過去のデータを整理し、指定管理者制度導入に向けて準備する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	13,846	16,806	7,795	15,589
	人件費	2,440	1,590	795	1,590
	合計	0	18,396	8,590	17,179
人件費 内訳	人工数	0.30	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	1,590	795	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	8,092	6,800	0	8,757
	一般財源	8,194	11,596	8,590	8,422

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
光熱費	千円	2281	2685	1436	2652
修繕費・工事請負費	千円	1303	3599	356	3409
委託料	千円	7936	8337	2970	7713
有料施設利用者数	人	22578	22578	11912	23824

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	14,722	16,500	16,000	15,000	15,000	77,222

成果指標				
成果指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数＝成果指標			
指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりとして、有料施設の利用者数を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	1.01	1.01	0	0
実 績	1.03	1.08	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	H28年度指定管理者制度導入に向けて、過去のデータを整理し施設にあった公募要項を作成し、今後の運営に向けて円滑な準備及び引継ぎ等が重要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域の実情に沿った対応方針の整理を行いながら、公園ごとに、あるいは同一公園でも施設ごとに、その性格や目標とすべき管理水準に応じてストックマネジメントを行っていくこととする。多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に指定管理者制度を導入することとする。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・公園管理であり、事故が起これば大きな社会問題になる。必要なお金はかけてきちっと管理しなければならない。                  ・ホームページを見ても詳しいことが分からない。具体的な施設の内容や料金、申込先などを記載すべきである。                  ・成果指標を人数でやるのは、全然良くない。お客のニーズを具体的にシートで現有するのが、評価制度だと思う。                  ・財政面で直接事業費を下げることはあっても、お客の満足度を下げたり、危険にさらすことがあってはならない。                  ・合宿関係など、アピール(宣伝)の具合によって食いつきが良いと思う。                  ・グラウンドはしおさい公園だけでなく、こちらにもあるという話に持っていけば、もう少し利用率は上がると思う。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>指定管理の導入を検討すること。また、施設の耐震計画を立案し、長寿命化対策を講じること。</p>